

開成町をもっともっと元気に

開成町長 府川 裕一

開成駅の開業から30年が経過しようとしており、都市基盤が着々と整いつつあります。開成町南部地域はこれまで富士フイルム(株)先進研究所の誘致や開成南小学校の開校、足柄紫水大橋の開通、そして今年度中には都市計画道路路北開成小田原線が開通し、南部地区土地区画整理事業も完了する予定です。

開成町の面積は6.56平方キロメートルでとても小さな町ですが、人口減少時代に突入しても人口が伸び続けている元気の町です。これは先人たちが築いてきたまちづくりが今の時代に花開いた恩恵にほかなりません。

「萬古清風」^{*} 今度は私たちの番です。子どもたちが成長したときに自分の町を誇れるように、全町民が手を取り合い、もっともっと元気の開成町をつくり、夢のバトンをつないでいきましよう。

小さいけれど魅力ある元気いっぱいの町。そのような町に皆さんはいつまでも住み続けたいと思いませんか。この南部地域将来構想にある魅力あるまちづくりは、今バトンを持っている私たちにかかっています。

※萬古清風とは、古来から伝わる伝承や文化などを重んじ、後世に継承していくこと。



開成駅と南部地域を結ぶ都市計画道路駅前通線（イメージ）



安らぎを与えてくれる景色
矢倉岳とその向こうに見える富士山

のんびりとした休日
緑豊かな公園が町中に点在

心にゆとりを
ゆったりと流れる酒匂川、町中を流れる小水路

南部地域将来構想

問 街づくり推進課 ☎84-0321

平成19年、開成町都市計画マスタープランを策定し、「人と水と緑が調和した活力ある快適都市“かいせい”」を将来都市像として計画を進めてきました。南部地区土地区画整理事業の完成を目前に控え、町の将来像を皆さんにお知らせします。

人と水と緑が調和した活力ある 快適都市“かいせい”

開成町が目指す20年後の姿を描きました。自然豊かな立地条件を生かし、「ほっ」とする“かいせい”をイメージしています。水と緑のうるおいある美しい街並み、良好な住環境と商業や産業の拠点となる都市機能と同時に、安らぎを与えてくれるいつもどおりの見慣れた景色が、町の目指す姿を表わしています。